

## 研修コースの概要

- 1 いちご高設栽培コース (高設栽培施設を使ったいちごの促成栽培及び露地野菜栽培)
  - ・約 230 m<sup>2</sup> (6.5m×35m) のハウスの中の高設ベッド (地上1mくらいの高さで腰をかかめ  
ないで栽培できるやり方) でいちごを栽培し、技術を習得する。
  - ・9月に苗を植え付け、灯油暖房機や炭酸ガス発生機で温度や湿度、CO<sub>2</sub>等を制御し、12月か  
ら5月の出荷を目指す。
  - ・いちご苗や肥料、資材の購入、暖房用灯油、電気代等の負担が必要 (概算 100 万円程度)。
  - ・出荷期間の間は、ほぼ毎日収穫と出荷が必要。
  - ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
  - ・露地野菜は 300 m<sup>2</sup>で、自身で栽培計画をたて栽培、出荷をする。
  
- 2 果菜類周年栽培コース  
(暖房設備、養液土耕装置を使ったトマト周年栽培またはいちご促成栽培及び露地野菜栽培)
  - ・約 230～260 m<sup>2</sup> (6.5m×35～40m) のハウスで、トラクタでうねをたて、トマトまたはいち  
ごを栽培し、技術を習得する。
  - ・トマトは10月頃に苗を植え付け、1月～6月の出荷を、いちごは9月に苗を植え付け、12月  
～5月の出荷を目指す。
  - ・灯油暖房機や炭酸ガス発生機で温度や湿度、CO<sub>2</sub>等を、養液土耕装置で水と肥料を制御しなが  
ら栽培する。
  - ・苗や肥料、資材の購入、暖房用灯油、電気代等の負担が必要 (概算 100 万円程度)。
  - ・出荷期間の間は、ほぼ毎日収穫と出荷が必要。
  - ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
  - ・露地野菜は 300 m<sup>2</sup>で、自身で栽培計画をたて栽培、出荷をする。
  
- 3 無加温施設栽培コース  
(ビニールハウスと露地ほ場を使った葉物野菜・トマト等の無加温果菜類の栽培)
  - ・約 230～260 m<sup>2</sup> (6.5m×35～40m) のハウスで、トラクタでうねをたて、葉物野菜、トマト、  
いちご等を栽培し、技術を習得する。
  - ・葉物野菜は9月～2月に栽培し出荷、トマトは1月に種をまき、3月に植え付け、5月～6月  
の出荷、いちごは10月に植え付け、1月～5月の出荷を目指す。
  - ・苗や種、肥料、資材購入、換気扇等電気代等の負担が必要 (概算、最低 30 万円程度)。
  - ・出荷期間は収穫、出荷、栽培期間はハウス管理が必要。
  - ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
  - ・露地野菜は 300 m<sup>2</sup>で、自身で栽培計画をたて栽培、出荷をする。
  
- 4 有機栽培コース  
(ビニールハウスと露地ほ場を使った農薬・化学肥料を使用しない野菜類の栽培)
  - ・約 120 m<sup>2</sup> (6m×20m) のハウス1棟または2棟で、トラクタでうねをたてて、葉物野菜、ト  
マト、いちご等を栽培し技術を習得する。
  - ・葉物野菜は9月～2月に栽培し出荷、トマトは1月に種をまき、3月に植え付け、5月～6月  
の出荷、いちごは10月に植え付け、1月～5月の出荷を目指す。
  - ・苗や種、肥料、資材の購入、電気代等の負担が必要 (概算、最低 30 万円程度を見込み)。
  - ・肥料は JAS 有機基準に適合したものを使用する。
  - ・出荷期間は収穫、出荷、栽培期間はハウス管理が必要。
  - ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
  - ・露地野菜は 300 m<sup>2</sup>で、自身で栽培計画をたて栽培、出荷をする。